

コースコード : DO-DOL

税込価格 : 176,000円 (税抜価格 : 160,000円)

日数 : 2日間

トレーニング内容

本トレーニングでは、人間的なダイナミクスに焦点を当て、実際のシナリオやケーススタディを用いて、DevOpsのあらゆる分野の人々を巻き込むためのプラクティス、メソッド、ツールを習得します。

トレーニングを修了すると、バリューストリークマッピングの理解など、自組織に戻ってから活用できる具体的なアイデアを得ることができます。

DevOpsリーダーの主要な情報源を活用して、DevOpsイニシアチブをリードする上での実際のベストプラクティスを抽出することで開発されたこのトレーニングは、テンポの速いDevOpsとアジャイル環境でのリーダーシップを通じて、DevOpsの働き方の違いと新たな実践方法を学べるように設計されています。

本トレーニングは「DevOps Leader」認定試験に合格するための基礎となります。

ここに注目!!

DevOpsの手法を用いてバリューストリークを整理・管理するための新しく革新的な方法を紹介しています。DevOpsの進化に取り組んでいる方に向けた内容となっています。

テキストは英語ですが、講義は日本語で行います。

ワンポイントアドバイス

2024年1月から、日本語での実施が可能になりました。テキストの言語は英語です。

受講対象者

このコースの受講対象者は次の通りです。

- ・ DevOpsの文化的変革プログラムを始めた人、またはリードしている人
- ・ 現代のITリーダーシップや組織変革のアプローチに興味のある方
- ・ ビジネスマネージャー
- ・ ビジネス・ステークホルダー
- ・ チェンジエージェント
- ・ コンサルタント
- ・ DevOpsコンサルタント
- ・ DevOpsエンジニア
- ・ ITディレクター
- ・ ITマネージャー

- ・ITチームリーダー
- ・リーン・コーチ
- ・実務担当者
- ・プロダクトオーナー
- ・スクラムマスター
- ・システムインテグレーター
- ・ツール提供者

前提条件

このコースを受講する前に受講者が習得しておく必要がある知識およびスキルは次のとおりです。

どなたでもご受講いただけます。

目的

このコースを修了すると次のことができるようになります。

以下トピックへの実践的な理解が含まれています。

- ・DevOpsとTime to Value
- ・マインドセットとメンタルモデル
- ・DevOps ITと従来のITの主な違い
- ・目標とするオペレーションモデルと組織設計
- ・パフォーマンスマネジメント、リワード、モチベーション
- ・投資案件の準備
- ・価値ある成果にこだわる
- ・ワークフローを整理するアイデア
- ・エンパワーメントと参加
- ・意味のある指標の定義
- ・バリューストリームマッピング
- ・文化的、行動的变化の促進

アウトライン

コース紹介

コースゴール

コースアジェンダ

DevOpsとトランسفォーメーション・リーダーシップ

現在のDevOpsの定義

DevOpsのメリット

トランسفォーメーション・リーダーシップ

アンラーニング・ビヘイビア

心理的安全性と神経科学

マインドセット、メンタルモデル、コグニティブバイアス

ガバナンス・リスク・コンプライアンス(GRC)とDevOps

DevOps組織になるために

DevOpsとの違い

DevOps Kaizen

建物の安全性について

Measure to Learn

Measure to Targetを避けるために

現在のバリューストリームマップの作成

改善のための測定

改善のカタチと実験

未来のバリューストリームマップの作成

ターゲット・オペレーティング・モデルと組織設計

コンウェイの法則

DevOpsで得られる望ましい成果

DevOps TOM設計原則

ビジョンの明確化と社会化



大企業の組織改革

人を活かすために

組織外放送

エネルギーと運動量の維持

DevOpsのビジネスケース

文化と風土

信頼感のある文化

その他の情報源

試験の準備

試験条件、問題の重み付け、用語のリスト

サンプル試験レビュー